

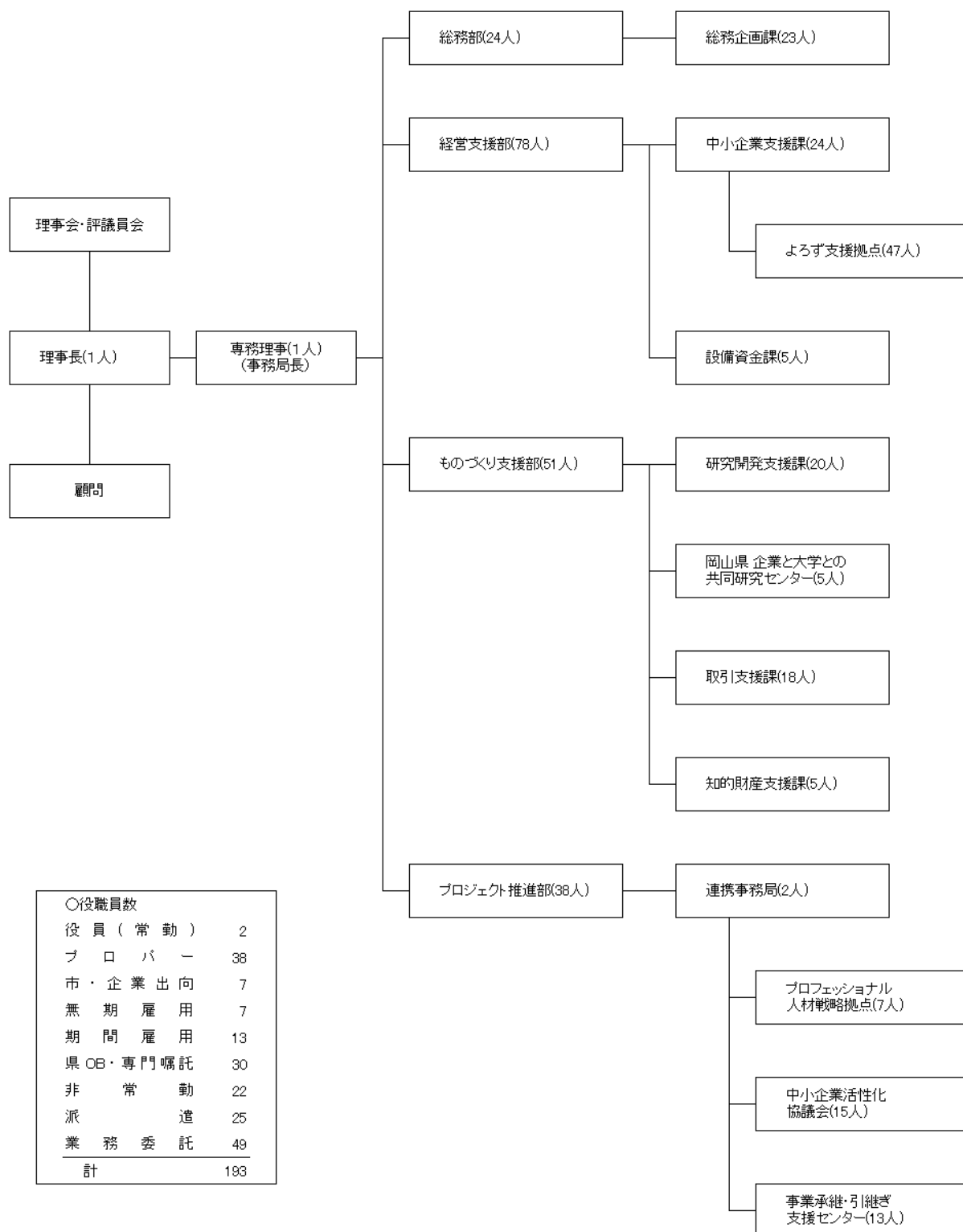
令和5年度

事業報告書

公益財団法人岡山県産業振興財団

I 組織図

(令和6年3月31日現在)



Ⅱ 理事会等の開催状況

1 理事会

開催日	審 議 事 項 ・ 報 告 事 項
第 1 回 (令和 5 年 6 月 13 日)	(審議事項) 第 1 号議案 令和 4 年度事業報告について 第 2 号議案 令和 4 年度決算報告について 第 3 号議案 評議員選定委員会の委員選出について 第 4 号議案 令和 5 年度第 1 回評議員会の招集について (報告事項) ・ 理事、監事の退任及び選任について
第 2 回 (令和 5 年 7 月 27 日) ※電磁記録による決議	(決議事項) 第 1 号議案 令和 5 年度第 2 回評議員会の招集について
第 3 回 (令和 6 年 3 月 8 日)	(報告事項) ・ 令和 5 年度第 1 回評議員選定委員会の結果について ・ 理事長並びに業務執行理事の職務の執行状況について (審議事項) 第 1 号議案 令和 5 年度事業計画の変更について 第 2 号議案 令和 5 年度補正予算について 第 3 号議案 令和 6 年度事業計画について 第 4 号議案 令和 6 年度当初予算について 第 5 号議案 令和 6 年度借入金最高限度額について 第 6 号議案 知財総合支援窓口運営業務の実施体制及び 財団職員の役務の提供について 第 7 号議案 令和 5 年度第 3 回評議員会の招集について

2 評議員会

開催日	審 議 事 項 ・ 報 告 事 項
第 1 回 (令和 5 年 6 月 28 日)	(審議事項) 第 1 号議案 令和 4 年度事業報告について 第 2 号議案 令和 4 年度決算報告について 第 3 号議案 役員の退任及び選任について (報告事項) ・ 評議員選定委員会の委員選出について
第 2 回 (令和 5 年 8 月 28 日) ※書面による決議	(提案事項) 監事 1 名選任の件
第 3 回 (令和 6 年 3 月 21 日)	(審議事項) 第 1 号議案 令和 5 年度事業計画の変更について 第 2 号議案 令和 5 年度補正予算について 第 3 号議案 令和 6 年度事業計画について 第 4 号議案 令和 6 年度当初予算について 第 5 号議案 令和 6 年度借入金最高限度額について 第 6 号議案 知財総合支援窓口運営業務の実施体制及び 財団職員の役務の提供について

3 監事監査

開催日	監 査 事 項
令和 5 年 6 月 8 日	令和 4 年度事業報告及び決算報告

4 評議員選定委員会

開催日	審 議 事 項
令和 5 年 8 月 28 日	(報告事項) 報告事項① 評議員の辞任について (審議事項) 第 1 号議案 評議員の選任について

Ⅲ 総括

令和5年5月に新型コロナウイルスの感染症法上の位置づけが「5類」に移行したことで、県内の経済活動は徐々に回復に向かう一方、原材料・エネルギー価格の高騰や慢性的な人手不足に加え、デジタル化、カーボンニュートラル、働き方改革や賃上げへの対応、ゼロゼロ融資の返済など、県内企業は様々な課題に直面し、厳しい経営環境が続いています。

当財団は県内の産業振興の担い手として、こうした外部環境の変化を踏まえながら、中長期にわたり県内中小企業が成長・発展していくよう、様々な事業を実施しました。

経営支援部門では、県内中小企業・小規模事業者に対する支援体制を強化するため、中小企業支援センターと岡山県よろず支援拠点が連携して、ワンストップでの相談対応の充実に努めました。また、変化の激しい経済環境が企業活動に及ぼす影響を実態把握するため、アンケート調査や企業訪問により経営課題を洗い出すとともに、専門家等と連携しながら、生産性向上や稼ぐ力の強化のための取組を後押しすることで、中小企業の経営力向上や活力のある企業の育成を推進しました。さらに、経営革新等にチャレンジする中小企業の計画策定支援や事業継続計画（BCP）の普及・策定サポート、円滑な事業承継支援など、企業の競争力強化を図りました。

創業予定者及び創業間もない者に対しては、相談会やセミナーを通じて知識習得の機会を提供するとともに、創業経験者のサポート等を通じて課題解決と成長の促進を図りました。加えて、ベンチャー企業等の資金調達を支援するなど、総合的な支援を行いました。

県内製品の販路開拓支援においては、県内外のバイヤーとの商談や展示の場の提供、大規模見本市への出展等をサポートしました。また、商談経験の少ない事業者向けに商談手法を学ぶ勉強会を実施するなど、県内事業者の様々な課題に対して、適切な専門家を派遣することで課題解決の支援を実施しました。

「岡山県よろず支援拠点」においては、対面相談とオンライン相談双方に対応し、相談

者の利便性を高めるよう環境の整備を行うとともに、関係機関と連携して「出前よろず支援拠点」を運営するなど、県内中小企業者の課題解決に努めました。また、成長を志向する中小企業に伴走することで、様々な課題解決の支援を行いました。

設備貸与事業においては、創業者、小規模企業者及び中小企業者等に対して円滑な設備導入のための支援を行うとともに、巡回訪問を通じて貸与後のフォローアップに努めました。

ものづくり支援部門では、世界的なカーボンニュートラルに向けた動きを県内企業の新たなビジネスチャンスに繋げるため、専属のコーディネーターを配置し、市場ニーズを反映した新製品開発や技術開発に取り組む企業を支援しました。また、グリーン成長分野における共同研究開発について、コーディネーターによる伴走支援を行い、社会実装に向けた研究を支援しました。

岡山大学内に設置している「岡山県 企業と大学との共同研究センター」においては、専属コーディネーターが県内ものづくり企業と大学等との連携を促進し、大学の知を活用することで企業の課題解決や新産業・新事業の創出、中堅企業の成長に繋げる支援を進めた結果、36件の共同研究の契約を締結しました。

製造業の下請取引支援においては、「ものづくり県おかやま」を県内外へアピールするとともに、県外の手元メーカーとのマッチング機会を創出し、県内ものづくり企業の販路拡大を図るため、「おかやまテクノロジー展（OTEX）2023」をオンライン展示会と同時開催しました。

また、個別企業ごとにマッチする取引先を紹介するとともに、発注企業のニーズに応えるため、大都市圏や個別での商談会、関東・東海・九州地区の展示会への出展支援を行い、効率的なマッチングの場を設けることで、多くの成約に繋がりました。

さらに、主に大都市圏の発注案件を開拓するため、関東地区、東海地区及び九州地区に県外専門調査員を配置し、受注機会の拡大に努めました。

知的財産支援課においては、知的創造活動の成果や事業活動で発生する有用な技術及び営業上の情報である知的財産について、弁理士など知財専門家や支援機関等と連携し、IP ランドスケープなどを活用して課題解決の支援を行いました。

プロジェクト推進部門では、「岡山県プロフェッショナル人材戦略拠点」が、民間人材ビジネス事業者と連携し、大手企業等で豊富な経験を有するプロフェッショナル人材と人材確保に悩む県内中堅・中小企業とのマッチングを支援しました。

また、「岡山県中小企業活性化協議会」において、借入金等の課題を抱えた中小企業の収益力改善や事業再生に向けた取組を支援するとともに、民間専門家と連携して、中小企業の経営改善計画の策定を推進しました。

さらに、「岡山県事業承継・引継ぎ支援センター」において、事業承継ネットワークの構成員である支援機関や金融機関等と連携し、事業承継診断、事業承継や譲渡等に関する助言、情報提供及びマッチングなど、親族内承継支援と第三者承継支援に総合的に取り組みました。

総務部門では、産業人材の育成支援として、若手から管理職、経営者までを対象に、全 66 コースの研修を実施し、「課題解決に導くキーパーソンや事業を牽引できる人材」の育成を行いました。加えて、WEB マーケティング研修や CAD システムを利用した技術研修などを行い、急速に進むデジタル化に対応するための人材を育成しました。

また、グローバル人材の育成・確保を目的に、海外留学する学生に対して留学先での交流・実践活動を支援することで、グローバルな視点を持った意欲ある人材の育成を図るとともに、外国人材の受入拡大のため、留学生と県内企業の交流会や就職支援セミナーを開催し、マッチングに取り組みました。

加えて、県内大学に在籍しているアジア人留学生をビジネス人材として育成するため、一般社団法人岡山経済同友会及び県内 8 大学と連携し、ネットワークの構築、奨学金交付、インターンシップ等を行いました。

IT化支援については、デジタル化の進展で重要性が高まっているセキュリティに関するセミナーや生産性向上につながる研修会を開催しました。また、県内企業情報や各種支援施策、イベント情報などを発信するためのポータルサイトを運営し、セミナーやイベント情報等の有益な情報発信に努めました。

経済社会が大きく変化し、経営課題も多様化・複雑化・困難化しています。当財団では、職員一人ひとりが中核的・総合的支援機関の一員であるとの自覚を持って、「頑張る中小企業の応援団」として、企業の皆様に寄り添った支援に全力で取り組んでまいります。

IV 活力と創造性のある中小企業の育成（経営支援部事業）

中小企業支援法に基づく岡山県中小企業支援センター及び中小企業経営力強化支援法に基づく認定経営革新等支援機関として、県内中小企業の経営力の強化を図るため、他の支援機関と連携しながら、窓口相談、経営革新支援、創業支援、販路開拓支援、設備導入支援に取り組みました。

また、コロナ禍後の経済社会の変化や物価高騰等の厳しい環境の下、事業継続や雇用の維持・拡大を図り、生産性向上や稼ぐ力の強化のための取組を後押しすることで、中小企業の経営力向上や活力のある企業の育成を推進しました。

加えて、小規模事業者を中心とした来所相談や WEB 型窓口相談を実施するよろず支援拠点の運営を行い、利便性を高めたワンストップ相談窓口として県内中小企業の包括的な支援に取り組みました。

1 岡山県中小企業支援センターの運営

総合相談窓口の運営（県委託事業）

- ① 中小企業等が抱える経営・技術・デジタル関連・現場改善等に関する幅広い課題に対して、窓口、電話、訪問等による相談に対応しました。

・相談件数 2,174 件（1,087 社）
うち、新型コロナウイルス感染症関連 78 件（ 39 社）

- ② 事業説明会の開催をオンラインにて実施し、財団事業の周知を図りました。

・事業者向け事業説明会 212 名（会場 48 名/オンライン 164 名）
・専門家向け事業説明会 79 名（会場 18 名/オンライン 61 名）

- ③ 中小企業支援センター事業等県制度を中心に、多様化している経営課題を解決するため、中小企業診断士等の専門家と連携した支援を行いました。

・専門家の派遣 74 社・団体（250.5 回）

<内訳>

岡山県中小企業支援センター専門家派遣制度

「成長・経営改善等支援事業」 13 社（47.5 回）
「不確実性の時代における自己変革力向上支援」 23 社（81.5 回）
県委託「中小企業 BCP 推進事業」 4 社（ 16 回）
県委託「事業承継による成長・拡大支援事業」 18 社（20.5 回）
県委託「6 次産業化 DX 活用推進事業」 6 社（ 30 回）
県委託「岡山県農山漁村発イノベーションサポートセンター事業」 5 社（30 回）
県委託「備中流！産業による地域おこし支援事業」 5 社・団体（25 回）

- ④ コロナ禍後の経済社会の変化や原材料・燃料の値上がり等が企業活動に及ぼす影響の実態を把握するため、令和 5 年 5 月から令和 6 年 2 月の約 1 年間にわたり、県内中小企業を対象にアンケート調査を行い、実態を把握・分析することで、様々な支援策の検討に活用しました。

・アンケート調査 3 回（約 4,235 社）

2 経営革新の支援

経営革新計画の承認支援（県委託事業）

中小企業者が作成した経営革新計画の県による承認をサポートするため、審査及び指導助言を行いました。また、県内支援機関と連携を図り、制度利用の一層の促進を図るとともに、企業における付加価値向上やデジタル化の重要性について助言を行うなど、課題整理と計画作成を支援しました。

また、計画終了企業のうち成果が顕著であり他の模範となる企業を表彰するなど、総合的な支援を実施しました。

- ・承認件数 98 件
- ・経営革新企業表彰 1 回（グランプリ 1 社、優秀賞 2 社）

3 事業継続力向上の支援

（１）BCP（事業継続計画）の策定推進（県委託事業）

自然災害や感染症の影響により企業の危機意識や BCP への関心が高まりつつある中、中小企業の事業継続能力の強化と信用力・企業価値向上支援が必要であることから、中小企業の BCP 策定を促すとともに、策定済みの企業も BCP の見直し・ブラッシュアップする仕組みを構築し、実効性の高い計画の策定支援を行いました。

- ・岡山県 BCP 認定制度 15 事業者認定（20 事業者申込）
- ・BCP 実践・訓練講座 2 コース（26 名）
- ・BCP 訓練講座 2 回（19 名）
- ・専門家派遣 4 社（16 回）※再掲

（２）簡易版 BCP の策定支援（県委託事業）

業種別・リスク別の簡易版 BCP 策定の手引き・ひな形を提供することにより、小規模事業者や BCP 策定に消極的な企業に対し、事業継続力向上に取り組むきっかけを提供しました。支援機関に対しても簡易版 BCP と策定のポイントを紹介することで、より多くの企業が取り組みやすい環境を提供し、BCP の普及啓発を図りました。

また BCP 策定率の底上げを図るため、事業者が BCP を策定するためのワークショップを業種ごとに開催しました。

- ・岡山県版かんたん BCP シート提供 217 件
- ・普及セミナー 2 回（92 名）
- ・実践ワークショップ 4 回（40 名）

4 事業承継による成長・拡大への支援

（１）事業承継の取組や課題解決を支援（県委託事業）

円滑な事業承継に向けて、後継者の不在や事業継続の不安等を解消するとともに、承継後の企業価値を向上させ、新事業開発や M&A 等により企業の成長を支援するため、後継者や事業承継後の経験が浅い経営者を対象にセミナー・研修会を開催しました。さら

に、事業承継の取組や事業承継後の取組をまとめた事例集を作成・HP で公開し、必要性の周知を行いました。

また、国事業（事業承継・引継ぎ支援センター）とも連携し、事業の競争力強化等を支援するために専門家を派遣し、企業価値の向上を図り、事業承継を企業の成長に繋げる磨き上げを支援しました。

・事業承継入門セミナー	1 回（ 58 名）
・事業承継・M&A 実践研修	4 回（ 65 名）
・事業成長研修	6 回（ 75 名）
・事業承継事例集作成	6 事例
・専門家派遣	18 社（20.5 回）※再掲

（２）後継者の育成（自主事業）

中小企業の後継者等を対象に、経営者としての意識づくりを促す「後継者育成塾」を開催し、塾生に対して経営者になるための基礎知識を習得するための研修を行うとともに、塾生相互のネットワーク形成を支援しました。

また、修了生で構成する「吉備継成会（204 名）」の活動を支援しました。

・後継者育成塾の開催	1 コース（ 20 回）
・吉備継成会定例会等の開催	例会 3 回 分科会・同好会 11 回

5 生産性向上の支援

生産性向上に向けた設備投資等の支援（県委託事業）

コロナ禍や物価高騰等による厳しい経営環境の下、ポストコロナ・ウィズコロナ時代の経済社会の変化に対応した、エネルギー効率の向上やデジタル技術の活用、事業再構築、新事業展開・新分野進出等の生産性向上に向けた意欲的な取組を支援しました。

・相談件数	1,679 件
・補助金採択件数	144 件（採択額 1,050,000 千円）

6 岡山県よろず支援拠点の運営（国委託事業）

県内中小企業の売上拡大、生産性向上等の経営相談について、課題を分析し、解決策を提示するとともに、フォローアップを実施しました。

また、相談者の利便性向上のために、岡山市内・津山市内にサテライトオフィスを設置するとともに、「出前よろず支援拠点」として、商工会、商工会議所、市町村及び金融機関と連携して定期的に出張相談を実施しました。

さらに、「売上アップ」、「販売促進」、「IT 活用」等のテーマ別に週 1 回の頻度でミニセミナーを開催するとともに、事業承継をテーマとするセミナー及び名刺交換の場として、よろずカフェを開催しました。

さらに、「成長志向企業伴走型支援事業」を実施し、県内中小企業の経営力向上等を

支援しました。

・相談対応件数	16,354 件
・課題解決件数	2,895 件
・出前よろず支援拠点の開催	132 回
・ミニセミナーの開催	56 回
・よろずカフェの開催	11 回
・成長を志向する企業へのチーム型支援（フォローアップを含む）	17 社

7 創業の支援

（１）起業家の人材育成の支援（県委託事業）

創業予定者や創業間もない者を対象に、各種相談への対応、経営・財務・人材育成・販路開拓等の知識習得を目的とする研修会を開催しました。さらに、創業経験を持つスタートアップ有識者と自由に意見交換・相談できる場を設け、課題解決と成長を促しました。

また、男女共同参画センター内に設置された岡山県女性創業サポートセンターを情報のプラットフォームとし、各種相談に対応しました。

・支援機関連絡会議の開催	3 回
・分野別ミニ創業塾／事業計画書作成研修	8 回（ 39 名）
・創業&フォローアップセミナー	1 回（89 名）（会場 47 名/オンライン 42 名）
・創業ステップアップサロン	3 回（各 10 名）
・岡山県女性創業サポートセンター相談件数	55 件

（２）ベンチャー企業の育成支援（県委託事業）

成長が期待されるベンチャー企業を対象にハンズオン支援を行いました。また、新規性を有する技術や製品等を有するベンチャー企業等の掘り起こしに取り組むとともに、県内外のベンチャーキャピタルや金融機関等に向けたビジネスプランの発表と個別面談の場を提供しました。

・インキュベーション施設による連絡会議	3 回
・創業相談会	1 回（ 24 名）
・大学等と連携した起業家講演	2 回（250 名）
・ベンチャーキャピタル、金融機関とのマッチング会	2 回（ 10 社）

8 販路開拓・拡大支援

（１）新商品等の販路開拓支援（県委託事業）

優れた新商品・サービス等を有するにもかかわらず、メーカーや小売店等との接点がなく、販路開拓ができていない県内中小企業者を支援するため、首都圏をはじめとする大都市圏に向けての県産品の販路開拓支援を行いました。

・大都市圏販路拡大商談会	2 回
--------------	-----

延べセラー20社、バイヤー30社（商談件数129件、商談成約6件）

- ・「FOODEX JAPAN 2024（第49回国際食品・飲料展）」への出展支援

出展企業数	16社						
会期中商談状況	<table><tr><td>商談成約</td><td>18件</td></tr><tr><td>成約見込</td><td>39件</td></tr><tr><td>継続交渉</td><td>373件</td></tr></table>	商談成約	18件	成約見込	39件	継続交渉	373件
商談成約	18件						
成約見込	39件						
継続交渉	373件						

（2）大規模展示会出展及び商談会開催（県委託事業）

新型コロナウイルスの感染拡大の影響から、県外での商談や販売機会が減少し大きな打撃を受けた県内中小企業者の国内外の新たな市場への参入を進めるため大都市圏等での大規模展示会への出展及びバイヤーとの商談を支援し、継続した販路開拓の機会を創出しました。

- ・「日本の食品輸出 EXPO」への出展支援

参加企業数	8社						
商談状況	<table><tr><td>商談成約</td><td>24件</td></tr><tr><td>成約見込</td><td>10件</td></tr><tr><td>継続交渉</td><td>131件</td></tr></table>	商談成約	24件	成約見込	10件	継続交渉	131件
商談成約	24件						
成約見込	10件						
継続交渉	131件						

- ・「第11回沖縄大交易会」への出展支援

参加企業数	16社（リアル5社、オンライン11社）						
商談状況	<table><tr><td>商談成約</td><td>0件</td></tr><tr><td>成約見込</td><td>2件</td></tr><tr><td>継続交渉</td><td>62件</td></tr></table>	商談成約	0件	成約見込	2件	継続交渉	62件
商談成約	0件						
成約見込	2件						
継続交渉	62件						

- ・テーマ別商談会開催 5テーマ（3回）

（EC・ギフト／商社、卸／高質スーパー／百貨店／海外）

延べバイヤー16社、セラー60社（商談102件、商談成約10件）

- ・展示会、商談会事前研修の開催 3回（22社）

（3）晴れの国おかやま生き生きプラン応援プロジェクト事業（民間助成金、県補助）

アフターコロナにおいても継続して販路開拓の機会を創出するため、オンライン方式及び対面方式の商談会、大型見本市出展、専門家による支援を実施しました。

- ・フードマッチングフェア・オンライン展示 掲載者数 115社

- ・テストマーケティング 1回 出品者数 12社

- ・「フードストアソリューションズフェア 2023」への出展支援

出展企業数	20社						
商談状況	<table><tr><td>商談成約</td><td>7件</td></tr><tr><td>成約見込</td><td>3件</td></tr><tr><td>継続交渉</td><td>125件</td></tr></table>	商談成約	7件	成約見込	3件	継続交渉	125件
商談成約	7件						
成約見込	3件						
継続交渉	125件						

- ・勉強会の開催 1回（25社）

- ・商談会の開催 3 回
延べセラー99 社、バイヤー25 社（商談件数 135 件、商談成約 17 件）
- ・展示商談会「岡山県展示大商談会」の開催
出展者数 120 社、来場者数 1,064 名、商談件数 588 件（成約 31 件）

（４）高梁川流域地域資源活用推進事業（倉敷市委託事業）

高梁川流域圏の地域資源となる特産品について、商品改良のヒントを得るセミナー、市場競争力を高めるための相談会、首都圏小売店でのテストマーケティング及びバイヤーを招聘したマッチング商談会を開催し、知名度の向上、大都市圏での販路開拓を支援しました。

- ・セミナー 1 回
- ・相談会 2 回
- ・テストマーケティング 3 箇所（出品者数 延べ 27 社）
- ・販路開拓商談会 1 回

バイヤー5 社、セラー19 社（商談件数 31 件、商談成約 0 件）

（５）6 次産業化 DX 活用推進事業（県委託事業）

デジタル技術を生かした 6 次産業化を推進するため、流通対策等を課題とする意欲ある 6 次産業化事業者を対象に、専門的な知識を有する「6 次化 DX アドバイザー」を配置し相談支援活動を行うとともに、EC サイトの活用やオンライン商談、デジタルマーケティングによる顧客ニーズ等の調査・分析に基づく商品開発などの、総合的な販路開拓支援を行いました。

- ・相談件数 78 件
- ・専門家の派遣（EC サイト活用支援） 6 社（30 回）※再掲
- ・オンライン商談支援 16 社（商談 26 件）
- ・DX マーケティング支援 6 社

（６）岡山県農山漁村発イノベーションサポートセンター事業（県委託事業）

農山漁村での 6 次産業化を加速し、農山漁村が持つ豊かな自然や「食」等の多様な地域資源を、農業関連産業のみならず他分野とも組み合わせて新たな価値を創出する「農山漁村発イノベーション」を推進するため、事業者の経営改善や付加価値向上の取組を支援しました。

- ・地域プランナーの派遣 5 社（30 回）※再掲

（７）備中流！産業による地域おこし支援事業（県委託事業）

備中地域の地域資源を活用した産業による地域おこしに取り組む企業・団体が抱える個別課題の解決に向けたアドバイスを行うため、専門家の派遣を行いました。

- ・専門家の派遣 5 社・団体（ 25 回）※再掲

(8) こだわりの食品を取り扱う卸・小売業者との商談会事業（県委託事業）

備中地域の事業者が有する優れた食品や酒類の販路開拓を支援するため、首都圏等で事業展開している食品卸・小売業者との商談を支援し、販路開拓の機会を創出しました。

- ・こだわりの食品を取り扱う卸・小売業者との商談会

バイヤー1社、セラー5社（商談件数5件、商談成約0件）

(9) 商品開発・改良及びテスト販売事業（民間委託事業）

販路開拓に意欲的な中小企業・小規模事業者に対して、商品開発・改良及びテスト販売の場を提供することで、顧客ニーズ等の調査・分析に基づく商品力向上及び販路開拓を支援しました。

- ・専門家による支援（商品開発・改良）5社（15回）
- ・テストマーケティング 3回（2箇所）（出品者数 延べ24社）

9 設備導入支援【設備貸与（県借入金、金融機関借入金及び県補助事業）】

小規模企業者、中小企業者及び創業者等を対象に、希望する設備を財団が購入し、経営状況に応じた損料率（年0.89%～2.07%）で割賦販売又はリースを行うことにより、設備導入を支援しました。

また、申込企業が経営革新計画の承認等の条件を満たす場合には、「経営革新等設備投資促進枠」として当初5年間の損料に特別料率（年0.44%～1.03%）を適用したほか、「割賦損料助成金枠」として当初5年間の割賦損料の1/2を財団が助成しました。

さらに、コロナ禍において売上が減少している貸与先に対しては、3年間の損料を実質無利子化する制度により、資金繰りを支援しました。

(1) 割賦販売	159,109 千円
・経営革新等設備投資促進枠	〔95,845 千円〕
・基準枠	〔63,264 千円〕
(2) リース	17,952 千円
・基準枠	〔17,952 千円〕
(3) 割賦販売及びリース合計	177,061 千円
・経営革新等設備投資促進枠	〔95,845 千円〕
・基準枠	〔81,216 千円〕
(4) 小規模企業者等設備貸与割賦損料補助金申請件数	109 件

10 中小企業高度化事業に係る診断・助言（県委託事業）

中小企業高度化事業を利用し、貸付金を償還中の協同組合等に対して診断・助言等を行いました。

- ・運営診断 2 件
- ・事後助言 2 件

1 1 高度化資金・近代化資金の債権管理電算データ保守管理（県委託事業）

岡山県中小企業高度化資金及び岡山県中小企業設備近代化資金に係る債権管理データ及び電算システムの保守に関する事務並びにこれら債権に附帯する事務を行いました。

1 2 競争力強化対策事業（県委託事業）

県制度融資である『経営革新資金』について、事業計画の審査及び推薦並びにフォローアップ業務を行うとともに、『働き方改革応援資金』推薦企業へのフォローアップ業務、『経営革新等割賦損料補助金』に係る審査及びフォローアップ業務等を行いました。

・ 経営革新資金の推薦	2 件
・ 経営革新資金（製造業設備投資サポート資金を含む）に係るフォローアップ	4 件
・ 経営革新等割賦損料補助金の審査	4 件
・ 経営革新等割賦損料補助金に係るフォローアップ	2 件
・ 岡山県生産性向上ゼロ金利補助金に係るフォローアップ	1 件
・ 小規模企業者等設備貸与割賦損料補助金に係るフォローアップ	4 件

1 3 グループ補助金無利子貸付事業（県基金事業）

平成 30 年 7 月豪雨で被災し、グループ補助金を活用して施設・設備の復旧を行った中小企業等のうち、自己負担分への無利子貸付を行った企業に対して、完了検査等を行いました（資金貸付は令和 3 年 3 月 31 日終了）。

・ 貸付件数（金額）	25 件（1,468,663 千円）
・ 貸付債権件数（金額）	23 件（1,163,577 千円）

V コーディネート機能を発揮し新産業を創出（ものづくり支援部事業）

県内中小企業が、市場ニーズに応じた製品やサービスをより迅速に開発しタイムリーに市場に投入することができるよう、企業や大学などが有する開発ニーズや技術シーズのマッチングによる研究開発から販路拡大までの総合的支援を推進しました。

特に、おかやまグリーン成長戦略を推進するための専属コーディネーターを配置し、今後成長が期待される新たな分野での研究開発・製品開発を促進しました。

また、全国大手メーカーに対して県内受注企業の優れた加工技術等を広く PR し、新規取引先の開拓、広域的な受注機会の拡大を図るため、県内外での商談会の開催、各種展示会への出展、個別あっせん等を行うとともに、「おかやまテクノロジー展（OTEX）」を開催しました。

1 産学官連携の推進

（１）技術研究会の活動支援（基金事業・自主事業）

分野別技術研究会（岡山県食品新技術応用研究会、岡山県精密生産技術研究会、おかやまバイオアクティブ研究会、ハートフルビジネスおかやま）について、産学官連携のもと、研究開発活動や交流活動等を支援し、組織の活性化を図りながら、研究成果の発信と産業界での活用を目指しました。

- ・講演会、シンポジウムの開催、先進事例視察などの活動支援
(シンポジウム 5 回、講演・研修会 12 回、視察 4 回、研究室訪問 1 回)

（２）異業種交流活動の支援（基金事業・自主事業）

岡山県異業種交流プラザ協議会（10 グループ・190 人）の活動をコーディネートし、会員相互の交流や新事業創出の促進を図りました。また、事務局として 4 グループ（'82 岡山県技術交流プラザ、'84 岡山県技術交流プラザ、'91 岡山県技術・市場交流プラザ）の活動を支援しました。

- ・特別セミナーの開催 1 回
- ・「プラザのつどい&賀詞交歓会」の開催 1 回

2 研究開発の支援

（１）きらめき岡山創成ファンド（県補助事業）

新技術・新製品の研究開発を助成することにより、県内中小企業の成長を支援しました。また、自動車関連サプライヤーの既存技術の EV 対応のための研究開発を支援しました。

- ・採択 6 件（交付決定額 70,000 千円）
うち、2 件 EV 対応

（２）成長型中小企業等研究開発支援事業（国補助事業）

製造業の国際競争力の強化と新たな事業の創出を目指し、鋳造、鍛造、切削、めっ

き等の中小企業のものづくり基盤技術の高度化について、革新的でハイリスクな研究開発から試作段階までの取組を支援する国の補助事業を活用して、以下の研究開発を推進しました。

- ・次世代自動車の製造における軽量化とカーボンニュートラルの要求に対応したギヤポンプ式塗布装置の開発
- ・布地の『肌触りと耐久性』評価装置、評価方法の開発
- ・空気圧人工筋によるアクティブ支援を電源を用いず実現する衣服型アシストスーツの開発

(3) おかやまグリーン成長支援事業（県委託事業）

カーボンニュートラルの実現に向けた動きを県内企業のビジネスチャンスにつなげるため、セミナーによる情報提供や専門家を招いての勉強会等による成長分野別コンソーシアムの育成促進を図るとともに、専属コーディネーターによりコンソーシアム運営支援やグリーン成長研究開発プロジェクト創成事業の補助金の伴走支援等を行い、成長が期待される新たな分野での研究開発・製品開発を促進しました。

また、県内企業に対しグリーン成長に関わる技術動向の提供や支援制度の紹介を行い、産学官連携のよるニーズ・シーズのマッチング等による新技術・新製品の開発に向けた支援を行うとともに、脱炭素化要請に対応するためのセミナーや研修等を開催しました。

- | | |
|----------------------------------|-------|
| ・グリーン成長セミナー | 2 回 |
| ・ニーズ、シーズ発信会 | 2 回 |
| ・コンソーシアム勉強会、視察（半導体・水素） | 4 回 |
| ・LCA 対応セミナー等 | 4 回 |
| ・ニーズ・シーズ把握（159 件）、産学官マッチング（20 件） | 179 件 |

(4) 研究開発促進事業（県委託事業）

コーディネーターを設置し、イノベーションに挑戦しようとする企業のニーズを捉え、研究開発から販路開拓の各段階で適切なアドバイスや専門家の派遣、産学金官や企業間の連携調整を行い、研究開発の促進体制を強化しました。また、国、県等の競争的資金の説明会を開催し、広く周知するとともに、申請前から採択に至るまで伴走し、県内企業の研究開発成果を売上げに結実するまで支援しました。

- | | |
|---------------------------------------|-------|
| ・ニーズ把握（144 件）、相談（98 件）、産学官マッチング（35 件） | 277 件 |
| ・研究開発等の企業支援制度説明会の開催 | 1 回 |

(5) 高付加価値加工技術支援事業（県委託事業）

グリーン成長分野で要求される高付加価値な加工技術（超高精度加工、高品位加工、微細加工）に対応するための技術動向セミナーを開催しました。

- | | |
|-----------|-----|
| ・技術動向セミナー | 3 回 |
|-----------|-----|

(6) 技術振興事業（基金事業）

ものづくり産業の活性化を図るとともに、今後成長が期待される産業分野への進出を促進するため、研究開発や経営革新等、業種転換を進める中小企業の総合的な支援を行うことにより、本県産業の高度化と競争力の高い産業集積の形成を図りました。また、岡山リサーチパークに係る企業・機関の研究成果や県内大学の研究成果を企業が活用できるよう、シーズ発表の機会を創出しました。

(7) 自動車産業発展支援事業（県委託事業・自主事業）

「CASE」など、自動車産業における開発環境がめまぐるしく変化するなか、次世代技術の開発状況を把握し、速やかに対応が求められています。具体的には、新型軽自動車EVの生産が開始され、提案型の技術開発が必要であることに加え、新技術等への対応やEVシフトによる部品減少等を踏まえた異業種への展開の必要性が増しています。しかし、県内サプライヤーは研究部門が脆弱なうえ研究を推進する人材が乏しく、新技術・新製品の開発が進まない状況にあることから、自動車コーディネーターを設置し、技術開発を推進する人材を育成するとともに、その取組を岡山県自動車関連企業ネットワーク会議と連携して支援しました。

・コーディネーターの配置	
・開発人材育成研修	座学6回、実地3回
・CAEスキル向上研修	3回
・企業間連携促進支援事業（補助金）	5件
・岡山県自動車関連企業ネットワーク会議の運営	79社

(8) 販路拡大支援事業（県委託事業）

世界的なEVシフトが加速する中、EVの開発製造に向け各自動車メーカー等はサプライチェーンの大幅な見直しを実施していることから、県内サプライヤーにとって、新たな取引先確保の好機であると考えられます。このため、多様なマッチング機会を創出し、県内サプライヤーの販路拡大を後押しすべく、展示会への出展支援及び合同商談会を開催しました。

・人とするまのテクノロジー展 2023 出展支援	7 社
・オートモティブワールド 2024 出展支援	6 社
・技術提案会	2 回

(9) EV 関連部品開発等支援事業（県委託事業）

EV では、従来車に比べ部品総点数が 1/3 減少するが、EV 関連技術に十分対応できる企業はほとんどなく、新技術・新製品の開発が急務となっていることから、県内自動車関連企業が、EV の普及により新たに必要となる部品の製造や技術に対応できるよう、EV の情報発信セミナーや専門家派遣を実施し、県内企業の技術開発を後押ししました。

また、世界的な脱炭素の流れの中、走行時の Co2 のみならず、発電・製造から廃棄まで含めた環境負荷の評価（LCA）の重要性が増しています。特に欧州では、環境負荷が高い製品への輸入制限の検討が進んでおり（LCA 規制）、自動車製造におけるサプライチェーン全体での Co2 排出削減への対応が必要となることから、県内サプライヤーへの LCA 手法の導入支援及び EV の構造研究を実施しました。

・ EV 関連技術等情報発信セミナー開催	4 回
・ EV の構造研究等（車両分解）	1 回
・ 新素材等活用研究支援	3 回
・ EV 技術開発企業への専門家派遣	5 回

（１０）新分野進出支援事業（県委託事業）

内燃機関系部品（エンジン、マフラー等）を製造するサプライヤーにとっては、自社製品のニーズが減少することが懸念されており、県内サプライヤーは新たな分野に挑戦し、経営の多角化を図ることが不可欠となっています。このため、異業種展開に向けて、新分野展開の事例紹介やハウツーセミナーを開催するとともに、専門家派遣によるアドバイスや、異業種交流展示会での情報収集およびマッチングを行いました。

・ 事例紹介セミナー	1 回
・ 新事業進出先進企業視察	1 回
・ メッセナゴヤ 2023	8 社
・ 専門家派遣	2 回

（１１）カーボンニュートラルに向けた自動車部品サプライヤー事業転換支援事業

（国委託事業）

自動車業界においては、技術潮流の変化である「CASE」や、地球温暖化等を背景にした環境に対する規制が強化され、実質的な Co2 排出ゼロを目指すカーボンニュートラルなど、様々な取り組みが行われていることから、県内サプライヤーの EV シフト等を支援するため、窓口相談、セミナー、専門家派遣を実施するための地域支援拠点を設営しました。

・ 相談窓口の運営（個別相談）	90 件
・ セミナーの実施	4 回
・ 専門家派遣	14 回

3 ものづくり企業の成長の推進等

（１）デジタルマーケティング等を活用した中堅企業への成長支援事業（県委託事業）

優れた技術や旺盛な経営革新意欲など潜在的な成長力を有する県内中小製造業者を対象に、プロジェクトマネージャーを中心とした支援チームによる伴走支援を行いました。また、これまでの身近な成功事例を広く PR することにより、製造業全体にマー

ケティング等に取り組む機運の醸成を図るとともに、デジタルマーケティングの支援強化により、ビジネス環境の変化に対応できる企業の成長を支援しました。

- ・支援チームによる専門的支援 5 社
- ・過年度分継続的フォローアップ 5 社
- ・セミナー、個別相談会の実施 2 回
- ・成果事例集の作成

(2) グッドデザインものづくり推進事業（県委託事業）

デザイン戦略を有効に活用して自社製品を開発・展開している企業やデザイナー・クリエイター等による事例発表に加え、デザインを効果的・効率的に運用して企業や商品のブランド力を高めること等をテーマにしたセミナーを開催し、企業の意識啓発を行いました。

- ・ものづくりデザイン活用セミナーの開催 1 回

4 産業クラスター計画の推進

(1) 循環型産業クラスター計画の推進（県委託事業）

産業廃棄物を循環資源として活用する新技術・新商品の開発等により、県内環境産業の振興を図ることを目的として、中四国環境ビジネスネット（B-net）を設置し、中四国地域を視野に入れた広域でのビジネスマッチングやセミナーを開催するなど、産学官の連携により県内中小企業の環境負荷対策と経済活動の推進との両立を支援しました。

また、プロジェクト会議を開催し、循環型産業の振興に向けて、専門家等の指導や助言、関係企業による先進的事例の考察、3R 推進員等との意見交換など、県内企業等による新規プロジェクトの創出に繋がる活動・研究を行いました。

- ・環境産業支援コーディネータ・環境産業推進員による企業訪問、マッチング 186 社 61 件
- ・中四国環境ビジネスネット委員会 1 回
- ・B-net フォーラムの開催 1 回
- ・プロジェクト会議の開催 1 回
- ・エコプロ 2023 出展支援 13 社・機関
- ・地域ミニエコタウン事業承認審査委員会 2 回

(2) 晴れの国 CNF 連絡会運営事業（県委託事業）

産学官が連携しながら、セルロースナノファイバー（CNF）を利活用した製品開発の推進、人的ネットワークの拡充、企業間のマッチング等を実施する晴れの国 CNF 連絡会の運営を行うとともに、川下企業の裾野を広げることを目的とした実用化フォーラムを実施しました。

- ・総会・セミナー開催 1 回

- ・フォーラム開催 1 回
- ・勉強会開催 2 回

5 岡山リサーチパークの周知活動（基金事業・県委託事業）

（1）小中学生（家族）向け一般公開

岡山リサーチパークを中心とした研究活動を一般に公開することで、広く県民に存在を周知するとともに、新技術のすばらしさ、科学技術の重要性の認識を目的に、主に小中学生を対象とした日頃体験できない科学技術の発見・感動の場を提供しました。

- ・ 出展 4 コース（17 テーマ） 出展
- ・ 来場者 465 人

（2）岡山リサーチパーク研究展示発表会開催事業（基金事業・県委託事業）

岡山県内研究者の技術シーズをテクノサポート岡山にて公開することで、県内研究者と県内企業とのマッチングを進めました。

- ・ 産学官連携推進セミナーの開催 1 回
(出展者によるプレゼンテーション 5 テーマ)
- ・ 出展者テーマ 46 テーマ

6 大学と連携した地域産業の支援

大学と連携した地域産業振興事業（県委託事業）

大学等の高等教育機関の知の活用により、新たな技術課題に対応しながら成長・発展を目指し、中小企業を中堅企業へと押し上げていくため、岡山大学内に設置した「岡山県企業と大学との共同研究センター」において、企業の課題の整理や大学等窓口との調整、円滑に研究開発を進めるためのアドバイスなど伴走型の支援を実施しました。

また、共同研究を実施したことがない県内中小企業が産学連携の第一歩を踏み出すための補助金の周知・申請支援等を行いました。共同研究を行う企業へは大学研究室学生が積極的に企業へ訪問できる環境を整え、県内中小企業の魅力を知ってもらう場を提供しました。

- ・ 相談件数 1,697 件
(内マッチング件数 82 件、共同研究契約件数 36 件)
- ・ 企業と大学の縁結び事業（ミニシーズ発信会） 11 回
- ・ コーディネーター情報交換会の開催 6 回
- ・ 産学連携セミナーの開催 1 回
- ・ 産学連携実践講座の開催 1 コース（5 回）
- ・ 産学連携スタート補助金 6 件 2,255 千円
- ・ 企業と大学との共同研究における研究室学生派遣 29 名

7 下請企業の取引あっせん

(1) 取引情報の収集提供（県補助事業）

県内及び県外発注企業の案件を発掘し、県内中小企業等の優れた加工技術を県内外発注企業に広く PR し、新規取引先の開拓支援を行うことで、下請企業の取引あっせんに努めました。また、県内中小企業等の加工技術、設備等の情報を収集し、県内下請企業の新規取引先の開拓、広域的な受注機会の拡大を図りました。

(2) 国内商談会等の開催（県補助事業、自主事業）

県外発注企業を岡山県に招聘し、県内中小企業等との面談を行う商談会を開催するとともに、全国規模の見本市への出展、本社・工場等が集積している大都市圏へ県内中小企業と出向き現地商談会を開催することにより、新規取引先の開拓支援を図りました。

① 広域商談会の開催（岡山）	1 回
② 中国ブロック合同広域商談会の開催（岡山）	1 回
③ 大都市圏企業との現地商談会の開催 （東京、愛知、大阪、岡山、香川、福岡）	6 回
④ 個別商談会の開催	18 回
⑤ オンライン商談会の開催	16 回
⑥ 人とするまのテクノロジー展 2023 NAGOYA	1 回
⑦ モノづくりフェア 2023	1 回
⑧ テクニカルショウヨコハマ 2024	1 回
⑨ サポーターズ・ミーティング（東京、大阪）	2 回（一部自主事業）

(3) 県外調査員を配置した下請け取引支援事業（県委託事業）

県外調査員を関東、東海、九州の 3 拠点に配置し、県内企業のニーズや受注能力に見合った発注案件の収集を各地域で展開し、県内企業との個別あっせん、オンライン商談会等を開催し、新規取引先開拓を支援しました。

(4) 航空機関連産業の誘致推進支援（県委託事業）

県内企業の航空機分野への進出や展示商談会出展を支援することにより、航空機関連企業に対して、県内企業の技術力や立地環境を PR し、航空機関連企業の誘致を推進しました。

・エアロマート名古屋 2023 への出展

(5) おかやまテクノロジー展開催事業（県委託事業）

県内ものづくり企業の一層の販路拡大に取り組むため、県下ものづくり企業等を一堂に集め、その優れた精密加工技術力及び技術開発力を県内外のメーカー等に向けて PR

を行う「おかやまテクノロジー展（OTEX）2023」（オンライン展示会を含む）を開催しました。

・出展社機関	213 社・機関
・出展小間数	389 小間
・来場者数	11,657 名
・出展社機関（オンライン展示会）	207 社・機関
・アクセス数（オンライン展示会）	12,753 回

8 岡山県内中小企業の景況調査（県委託事業）

県内中小企業の景況状況を定期的に把握するため、年間 4 回（5 月・8 月・11 月・2 月）対象企業 750 社に対しアンケート調査を実施し、調査報告書を作成しました。

9 下請かけこみ寺（相談・ADR 業務）事業（民間委託事業）

中小企業が抱える取引上の様々な悩み等を円滑に解決するため、「下請かけこみ寺」を設置し、相談及び必要な経費等の管理を行いました。

10 岡山県自立化推進研究会等の活動支援（自主事業）

県内の中堅下請企業で構成する「自立化推進研究会」（4 グループ 70 社）及び異業種交流・共同受注グループ（3 グループ 47 社）の活動を支援しました。

① 90 岡山県自立化推進研究会	例会 5 回
② 92 岡山県自立化推進研究会	例会 5 回
③ 94 岡山県自立化推進研究会	例会 6 回
④ ウイング岡山 21	例会 4 回
⑤ トラストネット未来	例会 3 回
⑥ ウイングウィン岡山	例会 5 回
⑦ メディカルネット岡山	例会 3 回

※令和 5 年度下請企業の取引あっせん実績

・あっせん件数	1,896 件
・成約件数	293 件
・当初成約金額（3 カ月ベース）	2,037,932 千円

11 知的財産を活用したものづくりの推進

（1）知財総合支援窓口の設置（国委託事業）

中小企業等が抱える知的財産に関する課題の解決を支援するため、一般社団法人岡山県発明協会と連携して「岡山県知財総合支援窓口」を設置しました。

窓口にて 6 人の窓口支援担当者を配置し、弁理士等知財専門家や支援機関と連携し、窓口または現地訪問にて課題解決を支援しました。

・窓口支援担当者が対応した相談案件数	2,500 件
〔 うち知財専門家（弁理士等）と連携した支援	353 件
〔 うち支援機関と連携した支援	317 件

（２）外国出願に関する支援（国補助事業）

中小企業者等の海外展開支援の一環として、知的財産を外国出願する際の経費を補助しました。

・特許	3 件
・商標	10 件
・意匠	1 件
・補助金額	7,668 千円

VI 国等のプロジェクト支援（プロジェクト推進部事業）

岡山県プロフェッショナル人材戦略拠点、民間人材ビジネス事業者と連携し、プロフェッショナル人材の活用による「攻めの経営」や生産性の向上を支援しました。

また、岡山県中小企業活性化協議会及び岡山県事業承継・引継ぎ支援センターは、中小企業の事業再生や事業承継を支援するため、「産業競争力強化法」に基づいて国が設置している公的な機関であり、中小企業の収益力改善、経営改善、事業再生、再チャレンジ及び事業承継の促進に努めました。

1 プロフェッショナル人材のマッチング支援（県委託事業）

成長戦略の具現化に必要な人材の確保に悩む県内中堅・中小企業に対し、都市部の大手企業等で豊富な経験を有するプロフェッショナル人材とのマッチングを支援し、新事業の展開や新技術の開発など県内企業の経営革新を図りました。

また、働き方改革の一環として社員に副業を認める大企業等の動きや新たな働き方を模索するフリーランスの増加に対応し、企業の短期的な経営課題を解決するため、業務委託契約の形での外部人材（副業・兼業人材）の活用を図りました。

・民間人材ビジネス事業者の登録者数	27 社
・相談件数	310 件
・民間ビジネス事業者への取次ぎ件数	新規 47 社（345 件）
マッチング成立件数	53 件
・副業・兼業人材の取次ぎ件数	新規 12 社（12 件）
マッチング成立件数	3 社（5 件）

2 中小企業等の活性化支援

中小企業活性化協議会では、地域のハブとして、金融機関、民間専門家、各種支援機関と連携し、「地域全体での収益力改善、経営改善、事業再生、再チャレンジの最大化」を追求するため、「中小企業の駆け込み寺」として幅広く中小企業等の相談に対応しました。

これらの相談に対し、中小企業活性化協議会が自ら支援するほか、税理士、中小企業診断士などの民間専門家を活用して経営改善計画の策定を支援しました。

（1）中小企業活性化協議会事業（国委託事業）

企業の再生や再建に豊富な知識と経験を有するマネージャーが、経営環境が悪化しつつある中小企業からの相談に対応しました。このうち、財務や事業の見直しが必要と判断した場合は、公認会計士等の外部専門家と個別チームを編成し、金融機関との調整や再生計画の策定等を支援しました。

・相談件数	207 件
・支援完了件数（うち再生計画策定支援件数 44 件）	67 件
・モニタリング件数	20 件

(2) 経営改善計画策定支援事業（民間委託事業）

借入金の返済負担等、財務上の問題を抱えている中小企業等が、「中小企業等経営強化法」に基づき認定された税理士、中小企業診断士等の「認定支援機関」に経営改善計画の策定を依頼した際に発生する「計画策定費用」及び「フォローアップ費用」の一部を負担し、経営改善・事業再生を支援しました。

・ 経営改善支援相談件数	363 件
・ 経営改善支援利用申請件数	31 件
(中小版事業再生ガイドライン枠 5 件を含む。)	
・ 早期経営改善支援相談件数	141 件
・ 早期経営改善支援利用申請件数	9 件

3 事業承継・引継ぎ支援センターによる事業承継支援（国委託事業）

経営者が高齢等で事業の存続に悩みを抱える中小企業や、これら経営資源を引継ぐ意欲のある中小企業の相談に幅広く対応するため、事業承継全般に関する相談をワンストップで受け付け、親族内承継と第三者承継を総合的に支援しました。

親族内承継については、公的支援機関、金融機関、士業団体、行政機関等との連携のもと構築した「岡山県事業承継ネットワーク」により、事業承継の準備状況等をヒアリングし早期かつ計画的な準備を促すため、事業承継診断を実施しました。診断によって見出された課題については、支援機関、承継コーディネーター等が連携して課題解決を支援しました。

また、後継者不在の中小企業やこれらの経営資源を引き継ぐ意欲のある中小企業からの相談に対しては、事業譲渡に関する助言、情報提供及びマッチングを支援し、契約書の作成等についてもサポートしました。

① 第三者承継（M&A）支援

・ 相談対応件数	248 件
・ 成約件数	42 件

② 親族内承継支援

・ 事業承継診断	3,483 件
・ 承継コーディネーター派遣	228 件
・ 承継計画策定事業所数	68 件

Ⅶ 産業人材の育成と情報化支援等（総務部事業）

財団運営及び実施事業の利用促進を目的とした各種施策を企画・推進しました。また、階層別研修、IT 研修、ものづくり研修等を開催し、産業人材の育成を支援しました。加えて、各種支援策の PR や県内中小企業の情報などを掲載した情報誌の発行やインターネット上での「産業支援ネットワーク」の運営などを通じて、有益な情報発信に努めました。

1 産業人材の育成

（１）ものづくり人材に必要な人材育成（県委託事業）

自動車産業をはじめとした県内製造業がグリーン化・デジタル化など急速に変化する市場環境に対応すべく、実証講義の開催や企業視察を実施し、新技術等を活用した事業を効率的に実行することのできる人材育成を支援しました。

・ 研修	20 コース（166 名） 役立度 4.34/5.00
・ DX セミナー（オンライン）	1 回（55 アカウント）
・ 工場視察	1 回（47 名）

（２）産業人財育成事業（県委託事業）

中小企業の経営者から若手社員までを対象とした階層別研修のほか、経営管理・労務・営業・生産・技術など分野別研修を実施するとともに、急速に進むデジタル化に対応できる人材を育成し、県内中小企業のデジタル化への意識の全体的な底上げや DX の着実な進展を支援しました。

・ 産業人財育成研修の開催	66 コース（1,294 名） 満足度 4.55/5.00
---------------	----------------------------------

（３）新入社員の育成（自主事業）

中小企業に採用された新入社員を対象に、社会人としての心構えやルールを身につけるための、合同研修を行いました。

・ 新入社員合同研修、合同入社式の開催	1 回 2 日間(31 社 71 名) 満足度 4.67/5.00
---------------------	--------------------------------------

（４）マネジメントシステム担当者の養成支援（自主事業）

ISO9001 品質マネジメントシステムに関するセミナーを行い、企業のマネジメントシステムの構築維持を支援しました。

・ ISO9001（入門コース）	1 回（3 名）
・ ISO9001（内部監査員養成コース）	1 回（14 名）

2 グローバル人材の育成・確保

(1) 日本人留学生の人材育成支援（県負担事業、民間寄付事業）

県内の大学又は岡山県出身で県外の大学に在籍している日本人留学生を対象に、留学先での様々な交流や実践活動に奨学金を交付するとともに、県内企業へのインターンシップを通じて、地域に貢献したいという志を持つ人材の育成を支援しました。

また、県内企業に所属する社会人に対して、企業のグローバル化に対する一翼を担う人材として成長できるよう、奨学金を交付し留学の機会を提供しました。

- ・日本人留学生へ奨学金の支給 採択者 5 名（学生コース 4 名・社会人コース 1 名）
- ・オリエンテーション 1 回（20 名）
- ・県内壮行会 1 回（40 名）
- ・成果報告会 1 回（53 名）

(2) アジア人留学生を活用した海外展開支援

（民間寄付事業、全国中小企業振興機関協会助成事業、自主事業）

県内の大学に在籍しているアジア地域からの留学生をビジネス人材として育成・確保することにより、県内中小企業等の海外における事業展開を支援しました。

- ・アジア人留学生への奨学金の支給 36 万 / 人 15 名（うち冠企業分 5 名）
- ・インターンシップ情報の収集・提供 11 社 20 名
- ・県内中小企業等とアジア人留学生との就職マッチング
企業 33 社、学生 21 名、(110 件)

(3) 留学生の県内企業への就職促進、確保支援（県委託事業）

留学生向けのセミナーや企業交流会を開催し、留学生の県内就職促進に向け、留学生の就職支援や県内企業とのマッチング機会の充実を図りました。

- ・留学生等を対象とした就職支援セミナー 2 回(33 名)
- ・企業リサーチフェア 1 回(21 名)
- ・企業と留学生との交流会 (企業 7 社、大学関係者 4 名、学生 14 名)
- ・県内企業を対象としたセミナーの開催 2 回(43 名)
- ・県内企業を対象とした外国人受入相談会 2 回(4 社)

3 おかやま産業情報の発行等（自主事業）

財団賛助会員等に対し、財団の実施する事業や県内企業向けの各種施策等について情報提供する「おかやま産業情報」を発行しました。

- ・おかやま産業情報の発行 年 5 回発行（32 ページ 約 4,000 部）

4 中小企業の情報化支援

(1) 中小企業の IT 支援（基金事業）

テレワークの実施や WEB 会議ツールの導入等、IT 環境が激変している中、中小企業の IT に対する理解を深め、デジタル化、生産性向上につながる講習会を開催しました。また、中小企業の課題とされている IT 人材の育成や、中小企業者からの情報化に関する各種相談や情報提供を行いました。

- ・ IT セミナー、講習会の開催 6 回 (95 名)

(2) 岡山県産業支援ネットワークの運営（県補助事業）

県内中小企業者の IT 対応を促進するために、情報ハイウェイを活用した岡山県内の産業情報の発信拠点（ポータルサイト）を整備・運営し、県内企業情報等のデータベースの構築を図るとともに、有益なイベント情報、各種支援施策等を発信しました。

- ・ メールマガジンの発行 51 回

5 びっちゅう未来塾（県・倉敷市負担金事業、自主事業）

行政機関、産業支援機関、金融機関等の若手職員が、産業振興策等を学び、グループで地域活性化策を検討することにより、個々の事業立案力、職務遂行力のレベルアップと人的ネットワークの構築を図り、将来の備中地域の産業の活性化支援を担うことができる人材の育成支援を行いました。

- ・ びっちゅう未来塾の開催 9 回 21 名

6 テクノサポート岡山の施設管理（県委託事業、県指定管理事業）

「テクノサポート岡山」の管理者として、施設内の貸会議室、技術情報ライブラリー、展示室等の管理運営を行いました。

- ・ 会議室利用件数 885 件
- ・ 技術情報ライブラリー利用者数 2,375 名